

令和5年度 第1回 蜷塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月11日（木）13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 蜷塚中学校 会議室
- 3 出席委員 久野 隆久、川上 玲子、田村 智代、袴田 智恵美、橋本 憲幸、重信 明利、佐々木 知成、山田 谷一、矢野 貴恵、安藤 好恵
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 石田 博基（西部協働センター）
- 6 学 校 鈴木 公一（校長）、榊原 晋（教頭）、柏木 直人（CS担当）、小谷 留美（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 小谷 留美
- 10 議長の選出 久野会長が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
 - （1）学校運営の基本について
 - （2）いじめ防止等の基本方針
 - （3）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書
- 12 会議記録

司会の柏木から、委員総数10人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

 - （1）学校運営の基本について
 - （2）いじめ防止等の基本方針

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営、いじめ防止等の基本方針について説明があり委員からは、以下の発言があった。

部活動

- ・現在13部活あるが蜷塚中学校の適正数は7～8部活
- ・適切な部活動の推移を検討中
- ・統廃合、地域クラブ、合同部活などさまざまな方法を駆使する。（鈴木校長）
- ・入学式での校長先生のあいさつ「よく考えてごらん」を聞き本質的なことを捉え物事を一つ一つ真面目に対応するイメージを持った。たくさん課題を話され整理するのがとても大変だと思った。（久野委員）
- ・いじめ防止基本方針は市内小中学校共通なのか。蜷塚中学校独自の箇所があれば教えてください。（山田委員）

・市内小中学校では、ほぼ同じ方針です。問題がケースバイケースでマニュアルをそのまま使っても網羅できず解決することが難しい。必ずいじめ対策委員会を開き、いじめになる前のトラブルの間に解決したい。(鈴木校長)

・校長先生の蛭塚中への思いがよく伝わり感動した。面接練習や部活動の指導など幅広い人間性が必要になってくるので多様性のある学校経営をしてくれたらありがたい。問題が起きた時には力になれるので頑張ってもらいたい。(橋本委員)

・校長先生の指導への意気込みを感じた。PTA役員の頃に苦情対応、いじめや不登校問題に関わっていた。家庭環境が悪い子や少し手を差し伸べれば支えられる子など学校評議員会の力を借り問題解決したことがある。先生の立場では難しい問題に協力できれば負担を減らす意味でも必要。先生は生徒の指導に熱を注げるように、事務仕事は事務員を増やしスペースを設ける。役にたてることが思いついたので1年間取組みたい。(佐々木委員)

・3年生の面接練習は、練習をした生徒が一定の答えしかできなくなるので、あまり意味がないと思う。自己PRを地域の人たちに聞いてもらいアドバイスを受ける形に変えられないのか。いじめはいろんなパターンがあり法を把握する研修が必要。部活動は要望が多いけれど、統廃合が必要。学校で判断する問題。教員不足は教育委員会が考えて待遇改善する社会問題。(重信委員)

・地域活動はコロナが5類になり外に向かって行くが、生徒がボランティアに協力するように学校から保護者へ話しをする必要があると感じた。いじめや不登校問題は、子どもへの対応ができない保護者に助言する形がとれたらいい。(川上委員)

・SSRと大空学級の状況を知りたい。生徒の居場所や来やすい環境を整え、学びの追求ができたらいい。(田村委員)

・今日のSSR出席者は4名。(男子1名、女子3名)

今年度の大空学級10名在籍。1クラス定員8名で2学級。(榊原教頭)

・保護者と学校で面談をして判断する。(鈴木校長)

・校長先生の互いに尊敬しあう理念を聞き信念を感じた。学校、協働センター、地域がどう連携してボランティアを募集し協働センターまつりに子どもが集まる活動にできるのか。協働センターの方が会議に参加され、とても良いことだと思った。卒業式に参加できない子がたくさんいてショックだった。学ぼうとしている子たちへの手が削がれてしまわないのかも心配。いろいろあり学校は大変。学校評価で一部の人が出しているクレームを皆が出しているように取られるのは違うのではないのか。どこを吸い上げて解決するのか難しい。保護者と話す機会を面談などでもち、よい人間関係が持てたらと思う。(袴田委員)

・部活動は競技ごとで括られている。先輩との関係性、授業とは違う学びや体を鍛えることだと思う。見直しの機会には、競技名の概念を取り払い、体力をつけるための部活があってもいいと思う。思春期のいじめについて議論をしているが、中学生を相

手にしている先生だからこそできるアプローチがあり、教員の役割を最大限使えるといい。(安藤委員)

・今年も学校支援コーディネーターを務め、親のボランティア活動を取りまとめている。図書館ボランティア10名、読み聞かせボランティア13名、環境美化委員会で花壇の整備をしている。ここ10年くらいでPTA、親のボランティアの状況が変化して、お願いすることが難しくなってきた。いじめ問題は、困った時に親ではない先生に話しを聞いてもらい大人が助けてくれると心に残る。(矢野委員)

・地域と学校の連携活動は、高齢者とふれあいがもてたら、子どもは優しくなれるし、高齢者は生きがいもてる。協働センターは講座を行っているが、学校は無報酬なので難しい。(石田オブザーバー)

・本物に触れられる機会を持てたらよいが、予算の問題があり学校支援コーディネーターを通して地域の方をお願いする形をとっている。(鈴木校長)

・情報発信すれば、地域のために予算を出してくれる人はいる。(佐々木委員)

・PTAはクラウドファンディングが可能なのか。(矢野委員)

・PTAならばクラウドファンディングは可能かもしれない。面接練習は、どのタイミングで誰に協力依頼するのか。委員の皆さんが協力できるのか。部活動は学校が整理して依頼してくれたら協力できると思う。(久野委員)

・地域には題材を出し協力を求めたら参加してくれる人がいると思う。(佐々木委員) 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があった。説明の結果、全員異議なくこれを承認した。

13 報 告 学校支援CDより 昨年度の実績及び今年度の予定

職場体験学習は受け入れてくれる企業の一覧表を2年生担当の先生に渡している。受け入れてくれる企業を探し、条件を整理する。電話連絡から書面での依頼に調整して進める。(矢野委員)

その他報告事項等

・学校運営協議会の自己評価について

・司会から、次回会議は、令和5年7月31日(月)から蛸塚中学校会議室で開催する旨の報告があった。

・次回議長は重信委員が務める。